

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3		十分な広さのスペースを確保している。
	2 職員の配置数は適切であるか	3		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3		手すりや補助階段や補助便座などを用意している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3		体を動かしたい子どものためのトランポリン、ゆっくり過ごしたい子どものためのソファなどを用意し、さまざまな活動ができる設備を備えている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3		職員ミーティングで業務改善に努めている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3		初年度なので評価を集めている段階。来年度以降に評価を元に業務改善につなげる予定。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		初年度なので評価を集めている段階。来年度以降、評価を元に業務改善につなげる予定。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	行っていない。来年度から外部評価を行う予定。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3		月に1回事業所内で研修を行っている。外部の研修にも積極的に参加している。
適切な	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3		保護者と子どものニーズを明確にして、成長を見守りながら、中間評価をおこなって随時、改善をプログラムに反映している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3		保護者と子どものニーズを明確にした上で、発達支援、家族支援、地域支援の各項目で具体的な支援内容を設定している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3		児童発達支援計画に基づき、支援を行っている。

支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3		職員全員で活動プログラムの立案と改善を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3		職員全員で活動プログラムの立案と改善を行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	3		子どもからだや心理状態、年齢に応じて成長段階を見極めて、個別支援と集団支援を組み合わせながら実施している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		支援開始前後で職員ミーティングを行い、支援内容の確認と振り返りを行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3		支援開始前後で職員ミーティングを行い、支援内容の確認と振り返りを行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	1	記録をとることで精一杯になる日もあるので、検討改善の機会を増やす予定。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3		半年に1回以上のモニタリングを行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3		児童発達支援管理責任者と事業所長が必要なミーティングに参加している。必要に応じて他の担当者も同行している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	1	2	まだ不十分な点があるため、来年度以降に改善予定。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当者なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当者なし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		3	該当者なし。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		3	所属学校とは月に1回以上は連絡を取り、情報提供をしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		竹田市内の他の児童発達支援事業所と連携している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		3	コロナの影響で現在は行っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3		市内の福祉サービス事業所連絡会や子ども部会の会議に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3		定期的に保護者への連絡を行い情報共有に努めるとともに、モニタリング面談を半年に1度行い子どもの課題や成長について認識を共有している。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		3	定期的に面談を行う中で保護者の相談を聞くことはあるが、プログラムとしては用意できていない。今後の課題と認識している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		3	利用契約締結時に重要事項説明書を用いて説明している。また、疑問があればその都度解消できるよう相談に応じている。運営規定はプレイルームの壁に掲示していつでも見られる状態にしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		3	支援開始前には必ず児童発達支援計画の説明を行い保護者の同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		3	定期的に保護者への連絡を行い情報共有に努めるとともに、モニタリング面談を半年に1度行い子どもの課題や成長について認識を共有している。定期的に面談を行う中で保護者の相談を聞くことも多い。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	現在はコロナの影響でイベントは控えている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		3	相談があった場合は事業所長、児童発達支援管理責任者や支援担当者が相談に応じる体制を取っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		3	定期的に保護者への連絡を行い情報共有に努めている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか		3	職員は採用時に個人情報守秘義務同意書に捺印している。また、最低でも年に1度個人情報取り扱いに関する研修を行っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		3	子どもの特性や保護者に配慮し、意思疎通や情報伝達に勤めている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	地域の方をイベントに招待したり、地域の方の畑で農作業を体験させていただくことで、地域の方々と交流している。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		2
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		3	定期的に避難訓練を行っている。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		3	医療的配慮が必要な子どもには、保護者や関係機関と連絡を取っている。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		3	食事の提供を行っていないが、保護者から情報把握を行なっている。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		3	毎回ヒヤリハット報告を行い、打ち合わせ等で話し合いを行なっている。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		3	研修会等に積極的に職員参加を行なっている。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		3	身体拘束は行っていない。身体接触に際しては本人への同意と保護者への同意が必須としている。身体接触、安全確保等について職員一同で研修し十分な訓練を行なっている。